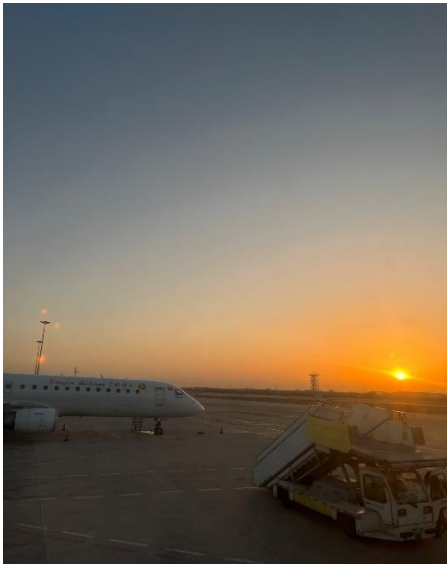


風を切る如月

大家好！皆様お久しぶりです、大瀧です。留学開始からあっという間に半年経過していたことに驚きが隠せないところではありますが、これを読んでいる方々はいかがお過ごしでしょうか。実は、2 月中に就職活動の関係で一時帰国を挟んでいました。インターンシップに参加したり、人生初の HSK を受験したり、また太原に戻るとルームメイトとの別れを迎えたりと、様々なことが次々と起こり、特に慌ただしい 1 か月だったと思います。そんな半年という節目を迎えたところで、「ぶっちゃけ中国語どのくらい上達した？」と気になる方も多い（はず！）と思いますので、先日受験した HSK のことも交えながら、私の中国語力のリアルなところをお伝えしていきたいと思います。



天津の朝日



クラスメート

まず、ご存知の方も多いとは思いますが、HSK とは国際的な中国語検定試験の 1 つです。英語における TOEFL や TOEIC を思い浮かべると想像しやすいと思います。正式名称は新汉语水平考试 (Xīn Hànyǔ Shuǐ píng Kǎoshì) で、その頭文字から通称 HSK と呼ばれています。1 級をはじめとして、6 級が最上級とされています。「中検」の名で親しまれている「中国語検定」とは異なり、日本語母語話者だけではなく全世界の中国語学習者を対象とした試験です。詳しくは日本実施委員会の公式サイト ([こちら](#)) をご覧ください。一時帰国した際に、自分の現状把握として 5 級を受験し、300 点中 270 点で無事合格できました（厳密には 5 級と 6 級に合格/不合格の判定はありませんが、6 割以上の得点で「その級相当の能力を有している」と判断されます）。

さて、この 5 級は実際にどの位のレベルなのでしょうか。一概に比較するのは難しいですが、合格した私の感覚だと 4 技能ともに英検 2 級ほどの水準だと思います。日常会話で問題を抱えることはかなり減り、自分の言いたいことは知

っている表現を組み合わせつつ、ある程度不自由なく表現できるレベルです。その一方でまだまだ知らない単語も多く、学術的な難しい話題や母語話者同士の会話は依然として聞き取りに苦労する状態で、体感 60%前後の理解度です。今回比較的高めの得点率で合格できましたが、5 級レベルの単語や表現を完璧に使いこなせるようになるにはまだ少し時間がかかりそうです。あと 4 か月ある留学の最終目標として、5 級レベルの表現をスラスラとアウトプットできるようにしたいと思います。そして日本の大学を卒業するまでに 6 級を取得したい…！

そんな HSK ですが、実はパソコンで受けられます。僕も今回パソコン試験を受けました。日本国内では筆記試験（中国語だと笔试 bǐ shì と呼びます）が一般的ですが、漢字圏以外の国では CBT タイプの試験（网考 wǎng kǎo）が主流なようです。ピンインを知っていれば回答入力が可能で、漢字ミスによる減点の心配ありません。ただ、逆にピンインを知らないと回答できないので注意が必要です（手書き入力は禁止されています）。漢字を書くことに慣れている日本人には逆に筆記試験の方が好まれるようで、パソコン試験の知名度も高くありません。実際の試験会場には、私を含めて 10 名ほどしか居ませんでした。これから受験される方は、ご自身の好みに合わせて選ぶのが良いと思います。それでは下个月見！